

8月

行事予定

今夕のご縁日

聖天様にお供えするロウソクを供養いたします。

仏教では周囲の不浄を燃やすことで周囲を浄める炎であり、仏様の教えの象徴として大切に扱われてきました。灯明講では灯明をお供えすることによりその明かりに感謝を捧げ聖天様のお智慧をいただくとともに自分自身の心を照らし、雑念を離れた清浄な心でお参りすることで聖天様のご加護・ご利益をいただきましょう。

【寺務所にて受付中】 講金 2000円



燈明講

とうみょうこう

8/20
火曜日
11:00~

朝まいり会

8月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歓喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

8月11日(日) 午前10時・午後1時 会費:500円也

お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

日曜勤行

8月11日(日) 午前9時 参加費無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。

合同大般若法要

8月25日(日) 午前11時 法要料:5000円也

皆様と一緒に上げる御礼の法要です。

要予約 坐禅の会

8月24日(土) 午前9時半~10時半 参加費:500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

事前に寺務所にてご予約ください。

ライブ配信のご案内 (配信QRコード)

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



いちよう

2024年8月号

令和6年7月20日発行/No.380

発行所: 待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

「謝意を表す」

本堂部長 関口真允



先日、台東区の小学生が社会科見学で当山にお参りに来られました。堂内にて、法話中子供たちの様子を見てみると、小学生には少し難しい話にもかかわらず、真剣に耳を傾けて、感心しました。

法話を聞き終え、帰り際に子供たちに手土産を配る時のことでした。手土産を受け取った子供たちが『ありがとうございます!』と元気よく発していたことにこちらも思わず笑みをこぼしてしまいました。元気な声であいさつや御礼などを言う子もいれば、もじもじと小さな声で言う子もいました。元気な声で返された相手は悪い気はしないでしょうし、それが人生を歩む上で、必要で大事なことだと我々大人が伝え教えていくのが使命と考えました。

ところで、来月末に当山では地元聖天町会様と共同で、今年も夏休みの小学生以下を対象とした子供会を開催する予定です。その中で坐禅や食事作法、お参りの仕方などを行います。食事作法を行う際に用いる齋食儀の経本には「給仕、謝意等は合掌によって表す」と記されています。普段何気なく行っている食事を通じて、なぜ謝意を表さなくてはならないのか? 表すことによってどうなるのか? これらの意味をもし知らなかった子がいたらこの機会に知ってもらい、知っていた子にはより理解を深めてもらえるように伝えていければと思います。

ご信徒の皆様からも聖天様よりご利益を授かった際、御礼をするにはどのような方法がありますか? とご質問をよく受けます。形は様々ですが、その方にとっての最大限の謝意と敬意を聖天様に表せればそれが正解でしょう。

『お陰様』の精神がよりよい信仰心を生み、豊かな生活を得られる。ご信徒の皆様にはこのことを体現し、未来を担う子供たちに伝えて頂ければ幸いです。

同時に我々大人も子供たちに大切なことを伝えていくことで改めて己を見つめなおし研鑽するよい機会となります。お寺はそのような場所でありたいものです。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiya.jp までメールをお送りください。



袈裟

袈裟(けさ)は、我々僧侶が法衣の上から身に着ける大切なものであり、宗派によって様々ありますが、基本的に左肩から右脇にかけて斜めに着ける布のことを指します。

袈裟はもともとインドで制定された僧侶の衣服であり、サンスクリット語で「濁」の意味がありました。お釈迦様が袈裟の材料に選ばれたのは、例えば使い古されて着ることが出来なくなった服や人が欲しがらない捨てられた布でした。これらを用いることで、自分を必要以上に飾り立てたり、人を羨ましがったりしないように

した訳です。貪りの心はいつも見栄を張ったり、人を羨んだりする心から生まれてしまいます。その為、袈裟は人の執着から離れた布を用いるのです。つまり袈裟には「執着しない」というお釈迦様の大切な教えが込められているのです。

関連して布施という言葉がありますが、「布を施す」と書くように布をもらうこともあったそうです。そのような上質な布も、その付加価値がなくなるように細かく裁断してから使いました。捨てられた布、付加価値をなくした布を丁寧に縫い合わせて作り上げられたものが袈裟の原点です。現在では捨てられた布で作られることは少ないですが、今でも小さい布を縫い合わせて作られています。

最近では輪袈裟や半袈裟など僧侶に限らず信徒様も着用される機会があると思いますが、改めて袈裟にはこのような意味が込められていることをご理解いただき、大切に扱っていただければ幸いです。(水谷洸祐)



お知らせ

**隅田川花火大会の日は
16時30分以後は
境内に入れません。**

7月27日(土)に開催される隅田川花火大会のため、正午で駐車場が閉まります。また16時30分以後は境内は立入禁止となります。参拝をご予定されている方はお早めにお越しくださいますようお願いいたします。

《ご報告》

「待乳山旅行会」

6月15日(土) 約40名の参加者で茨城県にある薬王院様と村松虚空蔵尊様へ参拝いたしました。早朝集合した参加者は本堂にて道中の安全を祈願後当山を出発いたしました。聖天堂で心をこめてお勤めさせていただいた薬王院様では内陣参拝をさせていただき、十二神将像等を拝観させていただきました。村松虚空蔵尊様では御住職の法話をいただき、御護摩に随喜させていただきました。迫力のある法楽太鼓に信徒の皆様は圧倒されておりました。



「浪曲供養会」

6月17日(月) 駐車場に立つ浪曲相輪塔の供養会を行いました。僧侶による読経の中、日本浪曲協会の方々が心を込めて焼香されました。



「地蔵尊供養会」

6月24日(月) 30℃を超える真夏になりましたが多くの参拝者ご参加のもと地蔵尊供養会を執行いたしました。



「御奉納」

当山御信徒の三崎登子様より香炉と香盒を二組御奉納いただきました。(上)
三宅不動産(有)様より沈香を御奉納いただきました。(下)
ありがとうございました。



「御袈裟授与式」

6月23日(日) 以下の方々への御袈裟授与式を執行いたしました。

【御袈裟授与者御芳名(五十音順)】

天木貴之様、新井治美様、新井ユタカ様、石川一浩様、石川恵様、市原保美様、伊東海様、今井一男様、大野晃央様、大野みつひ様、大野泉様、岡村美智子様、岡村守道様、小嶋勝五郎様、加藤英一様、加藤聡一郎様、久保田雅大様、久保田美和様、小泉志帆様、小泉保彦様、高麗正和様、齋藤千景様、斉藤ゆか様、佐久間英一様、佐藤静恵様、佐藤幸恵様、塩見直子様、島津孝邦様、清水淳陽様、進藤一女様、高田育浩様、高森圭介様、高森みどり様、田村皆禮様、西谷裕子様、橋本邦彦様、橋本千佳様、久優子様、松浦昌孝様、松木秀男様、待乳山親方、松永晴見様、宗方まり子様、安井直美様、山口真嬉様、山田順子様

お授けした御袈裟を掛け今後も信仰を続けて頂ければ幸いです。
この度は誠にありがとうございます。



「お宮参り」

6月6日(木) 青木瑠璃(るり)ちゃんのお宮参りをを行い、行者様よりお加持を授かりました。尊天様のご加護を受け、健やかに成長されることをお祈りしております。



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壹万二千元(一週間)

浴油祈祷 四千元(一週間)

華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壹万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

